



私のいちおし本 「天地明察」

冲方丁 著



選者：国見小学校・波野小学校 司書 谷口 ゆり子

書店でどれにするか悩んでいると、店員さんに真っ黒の地味な本を勢いよく薦められ、車に置きっぱなし、暫くしてから読み始めました。

なんと、家事も寝る間も惜しんで一気に読みました。

「暦がずれている！」江戸前期 23 年間をかけて日本独自の暦作りに挑戦した渋川晴海の物語。主人公が仲間とともに困難に挑み、挫折を味わいながら成長していく姿に感動です。

晴海と登場人物の水戸光圀、関孝和、妻などの関係の描写がとても魅力的でした。

改暦という一大事業を一緒に成し遂げたように満足し面白かったです。

この本との出会いから 16 年過ぎた今も、暦を見るたび、渋川晴海を想い、感動と感謝、幸せな気持ちになります。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

YABUNONAKA ヤブノナカ

金原ひとみ 著

ある女性が、かつて文芸誌元編集長の木戸から性的搾取をされていたとネットで告発した。出版界を舞台に性・権力・暴力・愛につき動かされる人間たちのドラマは予想もつかないクライマックスへ…。



【文化センター図書室】

【一般】

災疫の季節

中山七里 著

医療従事者の苦悩、陰謀論者の暴走、ジャーナリストの葛藤…。そして、コロナ禍で生み出された異常な心理が招いた殺人事件。悲劇の真相とは？



【児童】

やなせたかし物語

なんのために生まれて なにをして生きるのか

やなせスタジオ 作・絵

アンパンマンの作者、やなせたかし。その人生は、明るく楽しいことばかりではありませんでした。両親との別れ、戦争、弟の死、まんが家としてうまくいかないあせり…「なんのために生まれてなにをして生きるのか」を問い続けてきたやなせたかしの物語。



【児童】

宇宙食になったサバ缶

小坂康之・別司 芳子 著

宇宙で食べたくなる味って？ JAXA 認証宇宙日本食「サバ醤油味付け缶詰」をつくった高校生たちと支えてきた大人たちの 14 年を描いたノンフィクション。宇宙での食事や健康にまつわる、5つのコラムも収録する。



その他の新刊

【一般】汚部屋そだちの東大生

ハミ山 クリニカ 著

悪い気は植物が吸ってくれる

時雨 著

【児童】パンダとうさん

中川 貴雄 作・絵

夜空の切手

安東 みきえ 作 / nakaban 絵

その他の新刊

【一般】ナチュラルおせんたく入門

本橋 ひろえ 著

今と未来がわかる農業

堀田 和彦 監修

【児童】ボクは日本一カッコいいトイレ清掃員

大井 朋幸 著

奄美の海は生きものいっぱい

松橋 利光 写真 / 木元 侑菜 文